



「特殊ガラスと薄膜で光を科学する」
「はなはたひろくまに活躍の場を拓く」

中期経営計画(GNT2010) の見直し

岡本硝子株式会社

(JASDAQ 7746)

今般の経済危機に当たり、品質の維持・向上を前提とした一層の原価低減に注力すると共に、将来への布石を打つことを狙い中期経営計画を再検討した

2009年6月27日

2008年度の取組結果

2008年度(2009年3月期)の取組内容と結果

既存事業の利益率改善

生産拠点の
構造改革

原価の構造改革

営業戦略

上期において、計画は順調に進展

世界
同時不況

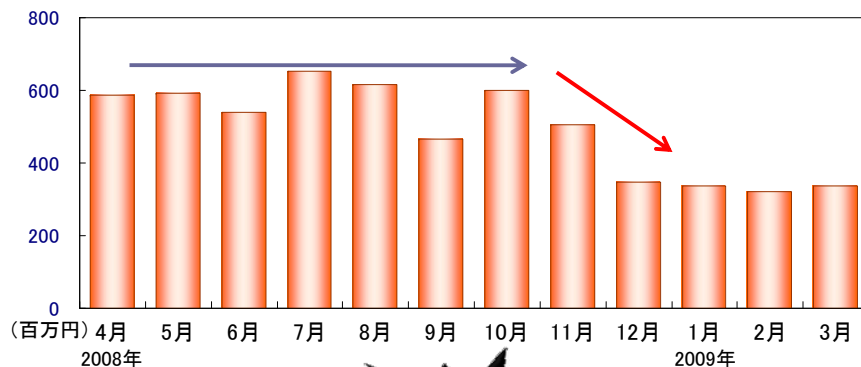
上期は、売上・利益共に計画を上回って推移したが、第3四半期に発生した世界金融不況に伴う各社部品在庫調整の影響を受け、計画に対し売上・利益とも下回った。

新規事業の立ち上がりにも影響が出たので原価低減を積極的に進めたが、連結営業赤字になった。



2008年度の取組結果

月別売上高



世界
同時不況

急激な落ち込み



2008年度の取組結果

新規事業の利益貢献

- 1) 液晶プロジェクタ用ガラス偏光子(緑色)は商品化に成功
各社の仕様に合わせ最終評価中
- 2) NEDOの委託により青色偏光子の開発に着手し、品揃え拡充へ
- 3) 既存技術と外部技術(オハラ社とのアライアンス)を組み合わせ
太陽光事業関連製品の試作完了

財務戦略の推進

- 1) 2回の第三者割当増資実施 **331百万円**
- 2) 売掛債権・在庫等流動資産の圧縮による運転資金減少 **708百万円**
- 3) 遊休資産の売却 **636百万円**
 - 有価証券 23百万円
 - 白金・ロジウム 65百万円
 - 蒸着機(13台) 548百万円

